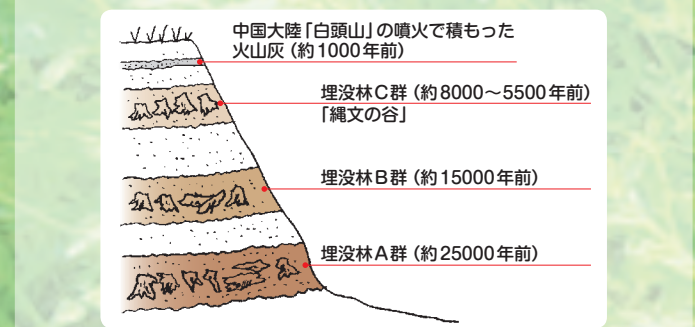


価値ある埋没林の発見

青森県内には、今から約30万年前～1000年前までの埋没林が各地で発見されています。平成9年には横内川遊水地でも大規模な埋没林が発見され、生々しい大昔の植物が姿を現しました。埋没林は、大昔の植物が土の中にそのままバックされていて、当時の環境や植物の生育している姿を知る上で大切なタイムカプセルといえます。



横内川遊水地では、一カ所で、しかも連続した地層の断面を、実際に観察することができます。約25000年前(A群)と15000年前(B群)ではトウヒ属・カラマツ属など寒い土地に生える針葉樹林でしたが、約10000年前～数千年前に埋没した「縄文の谷」(C群)ではヤチダモ・ハンノキ・クリなど暖かい土地で育つ落葉広葉樹林が広がっていました。



埋没林広場では様々な野鳥や植物が観察できます。



横内川 多目的遊水地



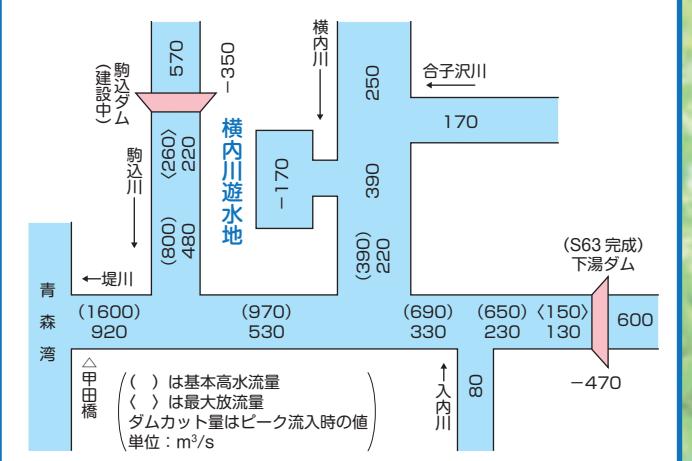
横内川多目的遊水地とは

- 横内川多目的遊水地は、堤川下流部の市街地の治水安全度の向上を図るため、堤川水系の洪水調節施設の一つとして、支川横内川に整備した県内で2つ目の多目的遊水地で、昭和59年度に着手し平成15年度に完成しました。
- 遊水地は、国道7号環状バイパスに面した市街地に隣接し、約60haの面積を有していることから、広大な土地を有効かつ高度に利用し、都市機能の向上を図るため、公益性の高い行政サービス施設を誘致し、池敷内を多目的に利用しています。

青森市街地を流れる堤川水系のようす



計画流量配分図



横内川遊水地は、合子沢川合流後の横内川計画高水流量390m³/sのうち170m³/sを調節し、堤川への合流量を220m³/sに抑制し、都市機能の集中する堤川下流部の治水の安全度を向上させることを目的に、横内川および合子沢川の河道改修と併せて建設されました。

治水に役立つ遊水地

- 横内川遊水地は、約62.5ha(南北約1200m×東西約500m)におよぶ広大な面積を有し、堤川下流市街地にこれまで何度も起きた水害から暮らしを守るため、次のような役割を果たしています。
- 大雨により河川が増水したときには、上池低水敷にある正面越流堤から洪水が流れ込み、さらに増水したときには下池の方へと広がって、一時的に遊水地内に洪水(最大220万m³)を溜めることによって、下流域の人々の安全な生活を支えています。

遊水地への流入順序

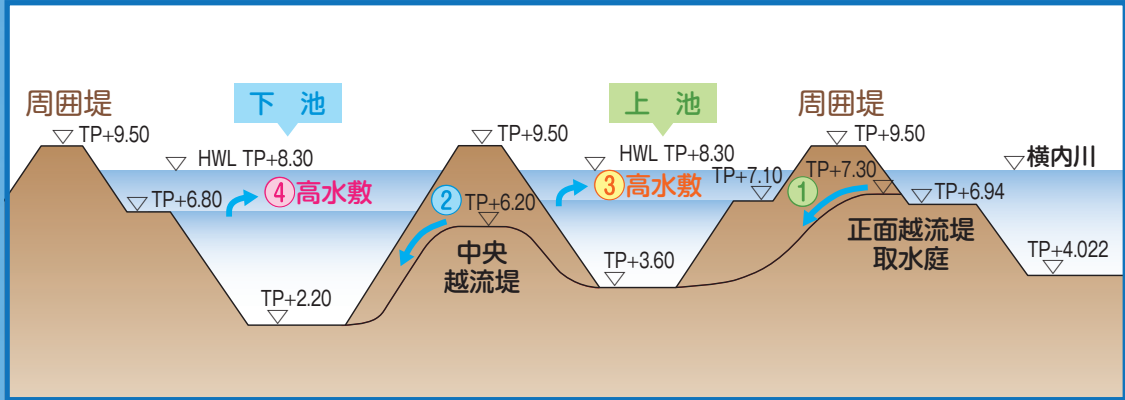
①上池への流入
横内川の水位が正面越流堤より高くなったとき。

②下池への流入
上池①の水位が中央越流堤より高くなったとき。

③上池高水敷への流入
流入が続くと、下池よりも先に上池の水位の方が高くなるので。

④下池高水敷への流入
さらに流入が続いたとき。

排水
横内川の水位が低くなったら、排水樋門を開けて貯留した水を横内川へ排水する。



横内川遊水地のすがた

多目的利用の考え方

横内川多目的遊水地が洪水調節施設としてだけではなく、行政サービスの拠点、都市生活のレクリエーション拠点としても親しまれるよう、次のような考え方で環境整備を行いました。

- 緑のオープンスペースとしてのスポーツ・レクリエーション
- 埋没林の学習などの縄文遺跡広場として利用
- 美しい自然環境を新たに作り出した魅力ある景観づくり
- 教育・福祉・県土整備に関わる行政サービスの拠点づくり



遊水地土地利用状況					
施設名	箇所	敷地面積	施設概要	事業主体	
東青地域県民局 地域整備部	下池：高水敷	2.5ha	R C 3 F	県土整備部	
総合学校教育センター	下池：高低水敷	4.0ha	R C 5 F	県教育庁	
青森市スポーツ広場	上池：高水敷	23.1ha	スポーツ公園	青森市	
聴覚障害者情報提供センター	下池：高低水敷	0.3ha	R C 3 F	県健康福祉部	
県有地(未利用地)	下池：高水敷	2.0ha		青森県	
小計		31.9ha			
埋没林広場	土地：低水敷	11.4ha	自然観察広場	青森県	
合計		43.3ha			

遊水地計画概要

基 準 地 点	堤川甲田橋	
計 画 規 模	1/100	
計 画 降 雨 量	230.2mm(24時間雨量)	
遊 水 地 位 置	横内川右岸No250～No1,300	
正面越流堤	堤 高	T.P 7.30m
	堤 幅	130.0m
	流入開始流量	110m³/s
中央越流堤	堤 高	T.P 6.20m
	堤 幅	50.0m
上 池	低 水 敷 高	T.P 3.60m
	高 水 敷 高	T.P 7.10m
	容 量	約700×10³m³
下 池	低 水 敷 高	T.P 2.20m
	高 水 敷 高	T.P 6.80m
	容 量	約1,500×10³m³
全 体	周囲堤天端高	T.P 9.50m
	H. W. L	T.P 8.30m
	遊水地全体面積	約62.5ha
	底 地 面 積	(利用可能面積)約43ha
	容 量	約2,200×10³m³

過去には
こんな浸水被害が！

昭和44年 8月
台風9号の洪水状況(堤川)



横内川の本川である堤川においては、昭和44年、52年、平成2年などの大規模な浸水被害が発生しており、今後このような洪水被害が発生しないよう、横内川遊水地の治水機能としての役割が、大いに期待されています。